

## イタドリ (痛取り)

名前の意味：痛みが和らぐとされたため。

分類：双子葉類、タデ科、イタドリ属

(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：白いさやのついた赤味を帯びた中空の茎、白くて細かい花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：離弁、5裂

花の時期：7－10月

食べ方：すかんぼと呼ばれて、若い茎は酸っぱいが食べられる。

見分け方：千葉県には、にた種はない

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)